

一般質問・質疑

九月十五日と十六日の本会議では、二十名の議員が質問に立ち、中学校給食などについて市の見解を求めました。また十月一日には、明石駅前南地区再開発事業の補正予算議案について二名の議員から質疑がありました。なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は二面から四面に掲載しています。

発言者一覧

—発言順— ( ) は会派名

9月15日・16日

尾倉 あき子(公明党)

①明石駅前南地区再開発事業 ②中学校部活動の活性化 ③高齢者への聴覚検査体制の充実で認知症予防を

種原 成人(真誠会)

①台風12号に関する本市の対応 ②明石市中心市街地活性化事業

遠藤 恒司(市民クラブ)

①その後の新駅 ②大久保地区に建設を予定している中部地区保健福祉センター建設の具体化 ③墓園の整備等

新田 正彦(次世代明石)

①災害時要援護者の避難支援体制 ②平和行政の推進

宮坂 祐太(民主連合)

①市長就任後4ヵ月半が経過した現在、これまでを振り返ってみて市長の自己評価は ②明石駅前南地区再開発事業について、市長自身の思いを問う ③教育環境・文化施設のさらなる充実に向けて

辻本 達也(日本共産党)

①行政全般に係る執行体制 ②組織機構の見直し ③水道水の安定供給と水源の確保 ④ノリ養殖業に対する支援 ⑤生産緑地制度の導入 ⑥たこフェリー

坂口 光男(政和会)

①市長選挙での公約、8つの改革・1つの決意への取り組みと市政運営 ②防災 ③市財政の改善 ④協働のまちづくり

国出 拓志(公明党)

①通年議会 ②小学校コミセンの所長、事務員 ③不法駐輪、不法投棄について条例制定をすべきでは ④自治会の加入促進

寺井 吉広(真誠会)

①入札制度による市内経済活性化

永井 俊作(市民クラブ)

①福島第一原発事故による放射能汚染対策 ②明石駅前南地区再開発事業の見直し ③市民病院の地方独立行政法人化 ④少子化と中学校の運動クラブのあり方 ⑤議案第78号 明石市市税条例等の一部を改正する条例

中西 礼皇(次世代明石)

①土地開発公社の経営 ②たこフェリーの再開 ③中心市街地の活性化

楠本 美紀(日本共産党)

①東日本大震災のがれきの受け入れと明石市内の放射線量測定 ②国民健康保険 ③保育所待機児童解消 ④八木松陰線と明姫幹線側道交差点の安全

樽谷 彰人(政和会)

①副市長人事 ②中学校給食 ③明石市中心市街地活性化基本計画 ④明石市が発注を行う工事入札と定義

佐々木 敏(公明党)

①明石市の自然エネルギー発電の施策 ②災害時の福祉避難所 ③各種公共施設・歩道・道路の市民モニター制度の創設 ④よりいっそうの節約のために

深山 昌明(真誠会)

①福祉避難所

北川 貴則(市民クラブ)

①ちょいのりバスの充実 ②DV被害者への支援 ③(通称)犬のフン害防止条例の効果 ④消防体制の現状と課題 ⑤砂利揚げ場とたこフェリー復活 ⑥行財政改革と現・執行部体制の整備 ⑦県立高等学校の通学区域再編(案)にかかる本市の対応

木下 康子(次世代明石)

①職員のパワーハラスメント対策の取り組み ②都市計画税 ③明石市の公共施設の消費電力

三好 宏(真誠会)

①歳入を意識した施策

山崎 雄史(真誠会)

①中学校給食の早期実施

千住 啓介(日本創新党明石)

①市長の政治スタンス ②発達障害児への支援 ③平成24年度中学校用教科書採択

10月1日

永井 俊作(市民クラブ)

①議案第116号 平成23年度明石市一般会計補正予算 辻本 達也(日本共産党)

①議案第116号 平成23年度明石市一般会計補正予算

就任4カ月半

泉市長の思い

市民幸福度日本一へ

問 泉市長が就任して、四カ月半が経つが、振り返って思うことや今後の抱負について聞く。

答 市長に就任してから心掛けていることは、市民に情報を素早く分



抱負を述べる泉市長

かりやすく提供し意見を聞くこと、そして職員がより働きやすい環境を作ることだ。そのためには、私自身が方針を明確にし、まちづくりの観点から見て市民には何が大切なのか、はっきりとした基準を持つとともに、公私混同することなく、公の立場であることを常に自覚して市

政を行わなければならないと考えている。今後の抱負については、公約どおり明石を市民幸福度日本一の核市にすることである。そのためには市民、地域、各種団体など、それぞれがしっかりと自立することが大切であり、さらには、地域と行政が連携を強化するとともに、財政の立て直しが必要と考

えている。現在、防災は総務部、水防は土木部が所管しているが、日常的に安全対策ができるよう組織の在り方を検討している。水防体制

問 土地開発公社は市の委託を受けて土地を先行取得しているが、百二十四億円もの借入額があり、その利息を支払うためにさらに借り入れするという状況となっている。この借金を現市長の在任中に清算する考えはあるのか。

答 土地開発公社については、土地処分が進まない中、土地の価格も

問 土地開発公社は市の委託を受けて土地を先行取得しているが、百二十四億円もの借入額があり、その利息を支払うためにさらに借り入れするという状況となっている。この借金を現市長の在任中に清算する考えはあるのか。

答 土地開発公社については、土地処分が進まない中、土地の価格も

副市長不在

今年度は

現体制を維持

問 副市長人事について、六月定例会のみならず、九月定例会でも提案がない。市長は本当に副市長を選任する意思があるのか。このような市政運営に市民から不安の声を聞くが、市長の考えを聞きたい。

答 副市長は、市政運営において市長を補佐する極めて重要な役割であると認識している。このまま副市長を選任しないというつもりはなく、必ず二人配置する予定だ。なお、九月には理事を三人に増やすとともに権限も付与し、併せて部長の異動も行うことにより体制の強化を図った。今年度においては、

問 高齢者や障害者など災害時に支援が必要となる災害時要援護者の支援体制について聞く。

答 策本部に要援護者対策班を設置し、個人や地域の力で解決できない場合は公的な支援を行う体制にしている。避

災害時要援護者

本部の対策班が支援

難支援のために市の関係各課と民生委員・児童委員をはじめ自治会や自主防災組織等とも要援護者情報の共有を図っている。避難情報の伝達については防災無線などを活用するとともに、NTTドコモの携帯電話には避難勧

告などのメールを配信している。また要援護者の個々の特性に応じた支援の推進や福祉避難所の在り方について、市の関係各課によるプロジェクトを立ち上げ、検討を進めているところだ。

問 市内業者の受注機会を増やすことは、地域産業の活性化と地元の雇用創出につながると考えるが、市の見解を聞きたい。

答 本市では従来から市内業者が受注可能なものについて基本的には市内業者を対象に発注している。特に工事部門では平成二十二年に市内業者への優先発注

問 市内業者の受注機会を増やすことは、地域産業の活性化と地元の雇用創出につながると考えるが、市の見解を聞きたい。

答 本市では従来から市内業者が受注可能なものについて基本的には市内業者を対象に発注している。特に工事部門では平成二十二年に市内業者への優先発注

土地開発公社 平成25年度で解散

借金は先送りせず

年々下落している状況であり、昨年度は一億三千七百万円もの金利を負担している。このまま何もせずに放置すると、公社の抱える負債がさらに増加する見込みだ。公社の借金につ

問 土地開発公社は市の委託を受けて土地を先行取得しているが、百二十四億円もの借入額があり、その利息を支払うためにさらに借り入れするという状況となっている。この借金を現市長の在任中に清算する考えはあるのか。

答 土地開発公社については、土地処分が進まない中、土地の価格も



早期の有効活用を(西明石)



増水した明石川(9月20日)